

【ミニ特集：地域研究所研究班報告】

「沖縄における自然災害・戦争災害等の多様な災害の総合的研究」について

Comprehensive research on various disasters such as natural disasters and war disasters in Okinawa

春田 吉備彦
Kibihiko HARUTA

本ミニ特集は、沖縄大学地域研究所に設置されている「沖縄における自然災害・戦争災害等の多様な災害の総合研究班」（研究代表者：圓田浩二）を中心として、2020年11月24日（火曜日）に本館-512研究室において13時から16時の間で開催した、河合壘・岩手大学人文社会科学部准教授、藤井怜・沖縄大学地域研究所特別研究員（岩手大学大学院総合科学研究科修士課程1年）の「沖縄訪問調査（自然災害と労働法）」に伴う研究会で報告された内容をもとに文章化したものである。なお、両名は、翌11月25日には、本研究班員である稲垣暁・防災士とともに那覇市役所・宜野湾市所の防災対策関連部署の実態調査も行っている。河合壘准教授は、科学研究費基盤C「大規模自然災害と労働者保護法理」（2020年から2022年）を受給されながら、全国各地の大規模自然災害の実態調査を積み重ねておられ、今回は、沖縄にかかわるその知見の一部を公表していただいた。藤井怜研究員からは、被災を経験した東北地方での実際の雇用状況をつぶさに紹介していただいた。ここからは、解雇や雇止めにおける独自の問題性が指摘されており、大規模災害時のさらに重層的な雇用問題の深刻さがうかがえるものとなっている。特に、藤井氏が指摘した、「労基署長による解雇予告除外認定が解雇権濫用法理といかに交錯するか」という法的論点はこれまでほとんど注目されておらず、刮目すべき指摘といえよう。さらに両研究からは、コロナ禍がこの問題にさらなる拍車をかけるであろう様相も読み取ることができる。

なお、本研究班の活動目的は、つぎのようなものである。

〈災害列島日本では、毎年、台風・豪雨・高波・津波・地震等の多くの自然災害に見舞われる。2018年度には、大阪北部地震・北海道胆振地方の地震・台風21号等の自然災害が発生し、社会の混乱を招いた。例えば、2018年6月の大阪北部地震では、広範囲で鉄道が朝から夜まで運休し、道路も渋滞し、街中に大量の通勤困難者や帰宅困難者があふれることとなった。自然災害時直撃時においても、例えば、高齢者の在宅介護を支えるために利用者宅での訪問介護を担うケースワーカー等、「命」がけの業務を要求される労働者は少なくない。企業は「事業継続計画（BCP＝Business Continuity Plan）」を意識しながら企業活動に取り組もうとする。BCPには、例えば、「自然災害」「戦争災害（戦災）」「労働災害（労災）」「NBC災害」「CBRNE（シーバーン）災害」「武力事態災害」等の多様な災害概念が組み込まれているといつてよい。

社会学上は、これまで多様な災害概念について論じられてきたものの、未だ通説的な共通理解

は確立していない。防災学上は、これまで自然災害を中心に「減災」「防災」対策を進化・深化させてきたものの、多様な災害概念に即応した包括的な検証は十分なされていない。労働法学上は、従来の多くの考察対象が平常時の労働問題を取り合うものであり、多様な「災害概念」が織りなす、有事の労働問題について本格的に取り組まれてきたわけではない。本研究では、「沖縄」を中心に考察しながら、これまで、分断的に研究が進められてきた「災害にかかわる問題領域」を多様な学問的アプローチによって解明していくことが研究の目的である。

本研究班では、まず、①社会学上の災害概念の定義づけ、②防災学上の「自然災害」「戦争災害（戦災）」「労働災害（労災）」「NBC災害」「CBRNE災害」「武力事態災害」等の様々な災害との関係の整理、③労働法上は、とりわけ、有事の労働者の労働義務の問題、④東日本大震災を経験し、復興プロセスの途上にある、岩手大学から見た災害問題といった学際的研究を通じて、多様な災害概念を再定義し、各学問領域の今後の議論に向けたプラットフォームを構築していくことにする。

本研究課題は、ともすると、各学問領域の枠内で、専門的知見が細分化してしまい、その全体像を通底するアプローチや各学問領域の連携が脆弱になりがちな傾向がある。本研究班の特徴は、学問領域の横断を図りながら、しかも、沖縄を主要な舞台として考察を加えていくことに特徴があり、東日本大震災を実際に経験した地域の研究者がこれに加わっているという特徴がある。）

本研究班では、引き続き、コロナ禍も含めて、新たなる災害発生という事態を取り込みながら、災害概念や災害弱者に対する問題点やその対策に対して検証を深めていく。